

くらし・福祉優先の区政を

第一回定例区議会 [2月21日～3月29日]



自治体としての役割を果たすべき

国の税制改悪のもとで、区民への影響ははかりしれません。「住民の福祉の増進」をすすめるべき地方自治体としての役割がますます重要になっています。

渡辺好枝区議は、税制改悪の影響等による二十二億円分の増収増を区民生活応援に使うよう区長に求めました。

区長は、国の税制改悪について、国会等で議論

いま、区は立石駅周辺の再開発計画をすすめています。しかし、地元住民の多くが反対をしています。その他にも、無理な都市計画道路の整備計画等もあります。

この他にも、区の責任を投げ捨てる民営化・民間委託をやめること、介護保険料の値上げをやめ、制度の充実をはかること、

税金の使い方をかえれば
区民生活応援ができます

日本共産党の組み替え動議

区民生活応援に	
財政調整基金から一部繰り入れ	4億493万円
耐震助成対象件数拡大(55件分)	2750万円
住宅リフォーム助成を創設	2000万円
介護手当の創設	1億6260万円
特養ホームにおける食費代助成	1522万円
紙おむつ支給・使用料助成を常時失禁者にもどす	1億33万円
保育料助成	1億5000万円
税制改正影響分	1億5000万円
小学1年生まで通院費無料化(10月から)	7500万円
商店街装飾灯電気代助成拡充	3100万円
など	
増額分合計	5億7336万円
不要不急の予算を	
議員給料の5%カット	-1540万円
費用弁償を廃止	-532万円
立石駅周辺地区再開発事業経費削減	-1000万円
補助279号線(高砂東地区)整備事業経費削減	-1068万円
国民保護計画策定経費を削減	-151万円
同和対策経費削減など	-960万円
減額分合計	-1億6843万円

た財政調整基金の取り崩しなども示しました。他の党は、審議もしないで反対多数で不採択としました。

葛飾区は、「民間でできるものは官ではおこなわない」と公共施設の運営を民間に開放してきた。今後は、区の窓口業務もすべて民間に委ねていくというのである。戸籍業務は、出生届から、婚姻、転居転入、死亡届と人生での大きな節目で、おこなう大切な手続で、それも民間の儲けの対象にするのである。

こういふ政治の流れはストップさせなければ、来年夏の参議院選挙で、共産党の前進を、(中)

日本共産党区議団は、3月13日予算審査特別委員会最終日、「区民生活

を応援する予算へ」と、組み替え動議を提案しました。提案説明は、野島

英夫区議が代表しておこないました。組み替え動議は、議



予算組み替え動議 野島英夫 区議会議員

で採択されれば、議会の意志として区長へ、「こ

小泉構造改革で「官から民へ」と盛んに叫び、耐震強度偽装事件が起こった。行政の責任でおこなっていた建築確認審査を、民間でもできるようにした結果である。

税制改悪による増収分は 区民生活応援に使うべき

代表質問

渡辺好枝

区議会議員

をしてきたことだと容認

など求めました。

2月21日から3月29日、第一回定例区議会がひらかれ、渡辺好枝区議が代表質問、中江秀夫区議、三小田准一区

日本共産党 葛飾区議団だより

発行 日本共産党
葛飾区議会議員団
3695-1111(2821)
責任者 濱川ひとし



しん 赤旗

日刊紙月2900円
日曜版月 800円

娘、試練の歯医者へ

長男は虫歯が一本もないのに、なぜか娘は歯医者へ。

一泣きも二泣きもして、歯医者さんに行く頃には落ち着いて、なんとか治療を終えまし



田村智子

(葛飾在住)

「おかっちゃん(私のこと)が、甘いもの思わず笑ってしまいましたが、次回は歯磨き

日本の医療政策が垣間見えます。治療を終えて会計へ。先月だったら無料だったのに、と思いがらの支払いです。国の制度として就学前まで無料にできれば、東京都(葛飾区も)として中学生まで無料にする財源がつかれます。なんとか実現させたいものです。